

平成 27 年 7 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

飯館村教育委員会

平成27年7月 定例飯館村教育委員会会議録

- 1 招集日時 平成27年7月24日（金）午後3時00分
- 2 招集場所 飯館村役場飯野出張所 3階会議室
- 3 出席委員 教育委員長 佐藤 眞弘
教育委員（委員長職務代理者）菅野 クニ
教育委員 高倉 文子
教育委員（教育長） 八巻 義徳
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者 教育課長 村山 宏行
- 6 開 会 午後2時00分

7 委員長挨拶

委員長 日程第1 委員長挨拶。

先月の14日、教科書採択協議会で最終的に平成28年度から使用される教科書が採択されました。今年から採択協議会で決定した教科書を各市町村で使うことになりましたので、飯館村を含む地区内の市町村については、今回の採択協議会での教科書を28年から使用することに決まっております。

議会特別委員会に教育委員3人が呼ばれました。主に話が出たのは小学校の校長1人体制について、帰村に向けての小学校3校のあり方と小学校、中学校をどうするかという内容でした。結果として、我々に何を聞いたかったのか、よく理解しないまま終わってしまいました。議会も何か情報をほしがっているのだろうと思いましたが、教育委員会での決定事項については、議会に情報を入れるようにしたいと思います。

夏休みが始まって1週間過ぎました。長い夏休みですので、子どもたち、事故等のないように無事に2学期を迎えられるように願っておりますので、その点もよろしくお願ひしたいと思います。

以上で挨拶にかえたいと思います。

8 会期の決定及び書記の指名について

委員長 日程第2『会期の決定及び書記の指名』を行います。

会期、平成27年7月24日の1日間とし、書記に教育課長村山宏行さんを指名したいと思います。よろしいでしょうか。

全 員 はい。よろしくお願ひします。

委員長 それでは、よろしくお願ひします。

9 平成27年6月定例教育委員会会議録の承認について

委員長 日程第3『平成27年6月定例教育委員会会議録の承認について』を議題といたします。事前送付の前の6月の会議録について、何かご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

全 員 はい。

委員長 それでは、前回の会議録は承認いたします。

10 教育長提案理由説明

委員長 日程第4 教育長提案理由の説明をお願いします。

教育長 いつもお世話になっております。

お手元に教科書等の議案を出ささせていただいております。先ほど委員長からお話がありましたように、教科書採択の方法も変わりまして、それなりに責任が重くなった部分はあるかなと思っております。慎重審議をお願いします。

11 議案第20号 平成28年度使用教科用図書の採択について

委員長 日程第5 議案第20号『平成28年度使用教科用図書の採択について』を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

教育課長 資料1で用意しました。平成28年度使用の教科用図書の選定結果の通知でございます。（資料に基づき説明）

委員長 それでは、質問に移りたいと思います。何か、皆さんからありますでしょうか。

菅野委員 今回から、社会科の教科書で原発事故の記載が加わるものもあると聞いております。例の原発事故の扱い方ですが、以前の教科書と違い、事故のことを記載している教科書もあるといった話が、去年、一昨年あたりから話題になっていたと思いましたが、今回選定された教科書はどの程度の記載か気になっています。

教育長 今、ご質問いただきました社会の教科書について、今回採択した教科書の内容、記述について次回にお知らせします。

菅野委員 きっと何か変わっていると思うんですね。事故のことまで触れた教科書と、事故についてはさらっとした内容であるとか。閲覧されていたときにしっかりと見てくださと言われてればそれまでなんですが。

教育長 この件については、調べます。

委員長 会場には教科書が全てあるんですが、見ている時間はというと難しいです。

菅野委員 見られないですよ、現実には。

委員長 会議では、代表の方がこういう訳でこの教科書を採択しましたという説明を延々と2時間ほど聞いて、それからですから。

菅野委員 そうですよ。

教育長 教科書採択では選定した先生方の名簿だけが非公表となっています。先生の名前がわかると教科書の会社からコンタクトがあったりするんじゃないかということで。そこは秘密ですが、あとはオープンですので、今、菅野教育委員から出た質問については、次回までお時間ください。

委員長 よろしいですか。

全 員 はい。

委員長 それでは、議案第20号『平成28年度使用教科用図書の採択について』は承認いたします。

12 議案第21号 臨時議会提出議案について

委員長 日程第6 議案第21号『臨時議会提出議案について』を議題といたします。

教育課長 資料ですとNo.2でございます。28日、議案を1件、議会のほうに提出しております。（資料に基づき説明）

委員長 それでは、何か質疑等ございましたら、お願いしたいと思います。

駐車場はかなり広くなるんですね。

教育課長 医師住宅の部分、それから草野の診療所、その部分まで延びますので、かなり広大な面積になるかと思えます。図面を見ていただければわかるんですが、公民館、交流センター自体は現在の消防署西端までできます。消防と交流センターの間、⑧に木がありますが、これは現在あるケヤキです。公民館の一番端に立っている木ですが、これがこの位置なので、かなり西側に延びると思っていただければ良いと思います。

またエリア的には、西側の駐車場は第3駐車場という表現をしていますが、消防のホースを広げたり、訓練の場所にも使えるというもくろみであります。

消防としては、出入口を交差点から30メートル離す必要があるということで、2か所になります。旧来の診療所の入り口については、飯樋方面に行く場合、県道12号線に面した方については、現在の駐在所正面、このあたりに出入口が付く格好です。

菅野委員 工事は実際にいつから始まるのでしょうか。

教育課長 フェンスを回して、今、地盤をやっているところです。まだ、上部の工事まで進んでいないので、なかなか見えてきませんが。

菅野委員 作業服も見えないですから。地盤はやってはいるんですね。

教育課長 はい。

委員長 他にはありませんか。

全 員 はい。

委員長 それでは、議案第21号『臨時議会提出議案について』は承認したいと思います。

13 諸報告について

委員長 日程第7 『諸報告について』を議題といたします。

教育課長 （主要な行事日程等について説明）

資料に載せました学校生活アンケートは、教育長からご説明をお願いします。

教育長 岩手県の矢巾町のいじめの問題、それからさかのぼって大津のいじめの問題、いつ、どこで起きてもおかしくない環境にあると思っております。そうした危機感を持って、中学校、小学校ともに6月にアンケートを終わっております。今のところでは、「ない」という表現は使わず、「今のところ、認められない」としてしております。先般、17日に終業式がありましたが、個別面談をしております。そして今は、今月中に終わる予定ですが、家庭訪問を行っております。そうした中

で、あってはならないものをしっかりとなくしていく。それ以外にも課題を抱えている子ども、ご家族の早期に課題を把握しながら、解決していくということで今、取り組んでおります。

その一つが、このアンケートです。当然、調べ方はすごく難しく、困り事調べということで、発育段階に応じて問いかけを変えております。それから、中学校でも、当然、発育段階に応じて、小学校とは違った、1・2・3と同じですが、問いかけております。

教育課長 続きまして、もう1件が上智大学の学生受入プログラムです。(資料に基づき説明)

教育長 それから、私のほうで1枚ものでお配りしたのは、7月の13日、14日、仙台で2日間、文部科学省の企画課企画課長が来て、新しい時代の教育について勉強会がありました。その内容です。

資料をごらんください。(資料に基づき説明)

委員長 それでは、質疑に移りたいと思います。何かございますか。

菅野委員 29日、30日に開催する教職員研修会の内容はこういったものでしょうか。

教育長 資料をお持ちします。お待ちください。

教育課長 (上智大学グリーンケア研究所特任所長)高木(慶子)先生と、玄侑(宗久)さんが初日、2日目が東大(東京大学医学部准教授)の中川先生が放射線教育となります。

菅野委員 29日の対談は午後からでしたよね。

教育課長 そうです。

菅野委員 30日は。

教育課長 30日は、午前中に村長講話が90分程度、その後に中川先生の講話になります。

菅野委員 29日は参加させていただきたいと思います。

それから、教育ボランティア組織について、先日の会議後、学校側の反応なり、その後、何かあったかどうか少し気になっています。

また、前回の教育委員会の後に教育総合会議があり、その中で、PTAの役員の方たちとも話し合ったほうが良いという話になりましたが、教育委員は(出席しなくても)いいよということでしたが、その後のPTAとの話についてはどのような内容であったのか、少し気になっています。保護者の反応、PTA役員の反応はどうでしたか。

教育課長 一番最初だということがありましたので、まずは、現在の状況説明。それから村長から一応解除の時期は来ると、間違いなく、これは。その時期は、早ければ28年3月、遅くて29年3月ということで、学校は、途中で帰すということはしません。いわゆる4月、年度切りかえのときに戻るという形、それは確実にしたいというお話でした。29年3月は、当面予想される場所です。

学校の再開をなるべく遅らせ、仮設を維持してほしいという意見は保護者から出ました。ただ、仮設学校の財政状況ですと、国の補助金で成り立っていますので、なかなか難しいという話も、率直にお話をしたというところでもあります。

今後も、何回かやっていきますという話で、まずはどういったことを考えているかとか、その辺のことをお聞きしたというところですかね。

菅野委員 きっと補助金のことを話されると、保護者も納得せざるを得ないですね。と
いうか、納得というよりは、そうかと思わざるを得ない部分がありますよね。裏
づけがなくなるのだから。

教育課長 村長から言っているのは、例えば川俣とか、南相馬とか、そこからバスで通わ
せる、それも有りだと思っているということ。

ただ、村にも学校、そして外にも学校とはならないという話はしていました。

菅野委員 スクールバスがそういう形での運行、例えば川俣とか飯野とか原町あたりから
となれば、今度は逆になりますよね。

教育課長 拠点から飯館に入っていくことになります。

菅野委員 飯館に向かっていくことはある、そういうことはできるという話でしょうか。

教育課長 総合教育会議後の、PTAの保護者らと村長との懇談の内容についてどんなこ
とを話されたかということでは、そういう話をしていました。

菅野委員 最初はそうではないと思うのが、繰り返し話をしていくと、そうだな、そうせ
ざるを得ないかな、やむを得ないかなと、だんだんとそういう形でいくんだらう
と思いますよね。

今回、やはり私は、村の議員さんたちと話をしても、要は、過程の中でど
れだけ丁寧にやったかということに彼らは気にしているというのが一つあるのだ
と思います。いきなり言ったと思われているということは、きちんとそういう説
明を保護者にしてきたかということと言いたかったのかなという気がします。

そういうことはとても大事だと思いますね。納得してもらうのは、こういう事
情ですから、これは難しいですね、100%納得ということは、でも、だんだんそ
れは分かっていたく必要があります。

もう一つは、できるだけ戻れる方は一人でも多くということなんです。これは現
實的に。とすると、そのための仕掛けづくりがあっても良いのではないかとい
うところでは、何か方策を考えておかなければなりません。本当に戻るのがいなく
てなってしまうんじゃないか。みんな転校という事態が起こってしまうのではな
いかということでは心配しています。

29年3月だと、すぐ、再来年ですね。そうしたら、具体的に来年は何かいろ
いろ考えていく、今年はその準備をしなければならぬと思うのですが。

教育長 本当に正解というのではないと思うんですよ。一つの答えで、みんな100%OKね
というような。どういうふうにして一人でも多くの方が納得、あるいは、こんな
ところかな、100%は満足いかないけれども、やむを得ないのかなという解を見つ
け出す。それから、後、6割、7割になるのか、わかりませんが、そのう
ちのこの程度なのかな、こんなことかなというような解を見つけだす、納得解の
世界だと思うんです。今、菅野教育委員が言われたように、今年あたりから、何
らかの取り組みをしなければならぬですね。

先日、1週間くらい前、南相馬市の教育長とお会いする機会があり、同じよう
なお話をしました。集まりでは、小高は来年4月に戻るイメージを持っている
という話を行政としてはしていると。ただ、それに基づいて、当然行政が戻れば
教育サービスが必要なので、それと連動するという答えをしています。

我々もそうした納得解を探す努力が必要なのかなと思っています。

菅野委員　そういう意味では、中川先生の講演を聞き、学校の先生方にどんなふうに見えただけなのかという状況を少し見たいなと思います。

それから、私なりの提案というか、こんなこともできるんじゃないかなと思っていることで、追加の話をしたいのですが、例えば村にちょっと子どもが帰る、お盆に帰るとかでもいいんですけども、飯舘に帰ったとき、その時間で実際にどのぐらいの線量だったのかということ調べたいと思っています。

実は、私は個人線量計を常に持って歩いているんですけども、この個人線量計がある機械に入ると、その場で1時間当たり0.1 μ Svとか、0.2 μ Svという数値が出てくるんですね。それを計算し、今度は別なソフトの入っているパソコンにつなぐと、この状況でこの生活をやっていると1年間にこのくらいになるということまでがその場でわかってくるのです。

実はきのう、おととい、産総研の方と話をしたのですが、例えばグランドゴルフの大会、村で何時間か過ごす時間にその2時間、3時間はどうだったのかというところを希望者に量っていただいたらどうか、ちょっとした時間があればできる。そういう話をしました。

何か少しずつでも大人側がそういうことをやり、子どもたちにもちょっとできる方にはお願いしながら、実際に村にいて2時間、3時間過ごしたらこうだったんだと。例えば経過、時期をちょっとずらしながらやれば、去年の8月ごろはこうだったけれども、今はこうだとか、そういうことがわかってくるんじゃないかと思っているのです。

これは、私自身が今まで自分でいろいろやってきた結果があり、それが見えてきたということで、そんな方法もあるし、とにかく、何か、ただ、「わからない、どうなんだべ」と言っているよりは、見える形でやっていくのも一つの方法なのではと思っているので、具体的にはいろいろあるかもしれませんが、その気になれば協力者は出てくると思っています。

私自身がやっていて気をつけているのは、復興庁も実はすごく注目しているんですね。何かやってみたいなど。なので、復興庁が出てくる話となったら別問題なので、いつも私は「目的は、何で知りたいんですか」というところがあって、例えば私が持っていて、私のデータをほしいと言われたときには、「何でそれを知りたいんですか」というところは必ず聞いています。私は、今、産総研とやりとりしているだけで、もっとも、ほかに出る場所はないんですけども。使い方によっては、うまく利用するのも一つあるのかもしれないです。

そのようなことで、グランドゴルフとか、村P連のときなど、どんな形でお願いできるのかなというのはあるんですが、やりたいと思っています。

教育長　　どうでしょう、保護者の集まりで、飯野でなくて飯舘村で。例えば村P連の集まりがあるとなると、事前に場所をしっかりとお伝えしてから事業内容をお伝えしなければなりません、多分。

高倉委員　　そうだと思います。参加者が少なくなるかもしれないです。結局、小さい子どもを連れて行くようになってしまうので、敬遠する方は出てくるかもしれません。

データさえ、数字であれば、見られれば本当は安心なんですけれども。

菅野委員　　そうですね。

高倉委員 数字があれば安心なんです。

菅野委員 だから、私個人的には、何人か、例えば子どもを連れて飯館にちよつとの時間、2時間でもいいんです、1時間でもいいんです。「連れて行くわ」という人かいたら、ちよつとお願いしながらやれたら一番いいなと思っています。

今、5セットくらい預かっています。そのうち、「うちの孫がしょっちゅう飯館に帰りたいというから」という方が1人、最近見つかりましたので、その方をお願いしたいと思っています。

それから、大人が宿泊したらどうなんだというところでは、私のデータと、ほかにお盆あたりに帰っている人がいればお願いしたいと思っています。委員長のところは、二枚橋なので比較的線量低いと思いますが、これもお盆にかけてそのうち、お願いしようと思っています。あの辺りでどのくらいありますか。

委員長 0.1です。0.1以上上がったことないです。0.09とか、0.1、そんなものです。

高倉委員 その数字は仮設の幼稚園より低いですよ。仮設の幼稚園は0.13とか。

委員長 そうですね。南相馬とかですと、高い数字はやはり0.13とか0.14です。図書館の数値を見ると、二枚橋より高いなと思っています。

教育長 だから、飯野にある仮設の中学校、0.1くらいですね。そして、飯野中学校に来ると0.23くらいですね。だから、保護者が「何で、こっちのところ、高いところに置いているんだ」みたいな話もされています。

菅野委員 なおかつ、それは空間線量ですからね。自分の体が浴びる線量はどうなんだという形で設置されたものなので、これは意図的に低くなるようにつくられたんだろうなどとか、いろいろ言う人はいるんですが、さらに低く出てしまいますからね。

でも、何かそういう形でとりあえずやりたいのですが。10日間のうち帰りませんか。

高倉委員 行く予定もないです。うちは。

菅野委員 1人だけでは、あれなのでね。大人と子ども、基本的に同じなんですけれどもね、浴びる量は。だから、大人さえやっておけばとは思いますが。でも、世の中というのは、そうでなく言う人もいますからね。子どもらはもっと大きい数値が出るだろうとかと言う人もいますから。

それはあくまでも帰る段階での私の提案です。飯館で何か行事をやる機会がありましたら、そのときにはお願いしようと思います。

教育課長 ほかの方が来て、飯館の状況を見たりということがあり、「放射線、一応、気にしますか」というと、「いや、全然気にしません」という人、そういう人がきているというのはそうなんですけれども、村外の方のほうで村を見ていて、村の方があえて見に行かないというのはね、何とも言い難いですね。

菅野委員 何か不思議な感じです。

あと、参考までにですけれども、国際放射線防護委員会の提言というものがあるんですね。緊急被曝のときの防護というところでの提言があるんですけれども、その提言をまとめるための会議が7月の初めにあつて、一応、私も何で呼ばれたかわからないんですけれども、それに行つて、私も一応飯館村の村民、避難している者としての、あの当時の報道からどうだったかという話をしてきました。

委員長 東京であったんでしたっけ。

菅野委員 そうです。一応それはきちんと、日本語でなくて英語で、今回戻ってきてさっぱりわからないと。こんなことを言っていていいかわからない、日本語でしゃべったと言って笑っているんですけれども、あのときの私たちの報道からの部分ですね、それからあとは今の放射線に対する考え方とか、かなり私の考えで言っていますから、あれは入っていると思うんですけれども、そんなかたちで、一応、一市民の声も上がっているというか、12月ごろに提言書がまとまると思うんですけれども、そうすると、それはインターネットでちゃんと引っ張り出せるという。でも、そんな役にも、飯館村は、実はなってしまうという。

教育長 先ほどは、小学校のアンケートでしたが、一方中学校は、今年、授業評価について、「授業は楽しいですか」だけではわからないと先生方から出てきたそうで、こうした授業評価アンケート（生徒用）をやろうとなったようです。

例えば「授業では興味や関心を高める工夫をしていますか」と、そして授業は、国語、社会など、その授業ごとに○をつけるんです。そうすると授業改善が進むということで、ことし始めるみたいです。非常によくやっています。

これは、飯館中学校の弱いところだったんですが、Ⅰ期選抜で上位校に行けないんですね。準備不足です。プレゼンの弱さですが、ことしから各務原の中学校との交流の段階でⅠ期選抜をイメージしたプレゼン資料をつくって行く。それを2年間くらい練っていけば、それおもしろいという話をしたんですが。

それから、みそづくり、紙芝居、それをカレンダーにするとか、ふるさと学習をビデオ化するとか、そうしたものも子どもたちが最後までまとめ切る形で、Ⅰ期選抜をイメージしながらまとめさせるということをやっていました。随分、小学校、中学校、動いてきていると思って見えています。

委員長 早い段階でそれができていると慌てなくて済むんですけれども、Ⅱ期選抜、1月、正月明けてからすぐですからね。それを考えると、やはり今の段階、夏ぐらいから、そういったプレゼンなり、セールスポイントをきちんと整理して、補講して、11月後半ぐらいから面接の集中講座をやって臨む格好にしないと、間に合わないんですよ。

教育長 どうしても、年明けてからⅠ期選抜の準備になると、Ⅱ期試験の時間を工夫しながらⅠ期選抜の準備をしているから、時間が足りないんですね。Ⅰ期選抜で本気になって、Ⅱ期の学力を維持できなかったんじゃないとか、不安はあるので、早目の準備はありがたいです。

委員長 ほかには何かございませんでしょうか。

全 員 ありません。

委員長 それでは、『諸報告について』は終了いたします。

14 その他

委員長 日程第8 その他『次回教育委員会の開催日時について』を議題といたします。8月24日、月曜日、午後3時からよろしいでしょうか。

全 員 はい。

委員長 それでは、次回の教育委員会は8月24日月曜日の3時からということにしたい

と思います。

15 閉 会

委員長 以上で7月定例飯館村教育委員会を閉会といたします。

午後4時05分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育委員長

佐藤 真弘

教育委員（委員長職務代理者）

菅野 仁

教育委員

高倉 文子

教育委員（教育長）

八巻 義徳

書記：教育課長 村山 宏行